

●さくらフォーラムから

・桜並木の剪定について－玉川公園管理事務所にききました。(5月9日)

Q:「桜並木と呑川親水公園の桜が強く剪定されました。「景色が変わってしまった」という声も多く寄せられています。剪定は、どのように行われているのでしょうか？」

A: 昨年度、全部の樹をチェックし、今後の長い目で見た樹勢回復を図るため弱った枝を取り除き、同時に交通への阻害や宅地への侵入によるご迷惑の解消のため、剪定しました。これまで剪定が後手に回って結果的に成長し過ぎた枝もあり、それらの枝を切ったことから「強過ぎる」との印象をもたれたかもしれませんが、剪定の位置を可能な限り現場で指示したこともあり、適切な剪定を行えたと考えています。下から見ては分からない弱った枝もありました。数年後には、これまでより元気な桜並木になっていると思っていますので、期待してください。

Q: 宅地内の剪定もなさったようですね。「当地には宅地内に伸びた枝を寛容に許容してくださる文化があるようだ」との指摘をいただいたことがあります。ご迷惑をかけているだろうとは察しつつ、ありがたく思ってきたのですが…

A: 迷惑を甘受されてきた方もあると思います。また、敷地が譲渡される際に不動産業者の所有になると、どうしても侵入した枝の伐採を強く求められがちです。

・当フォーラムは「建て込みが進んでいくだろうが、桜並木と住民のあたたかい関係を今後も保っていきたい」と理由を挙げて、2008年に地域風景資産として「旧・新町住宅地の桜並木」を推薦しました。桜並木を大切にしたい気持ちが地域で共有されるよう願って活動しております。

・ホームページの「マップ」をご覧ください。地図上に写真や昔の図を試行的にフロッツしました。

深沢・桜新町さくらフォーラム

ホーム 会について 新町住宅地とは フォトギャラリー 風景づくりプラン これまでの活動 新町住宅地関連資料

お問合わせ Jimdo利用方法 スライドで見る新町・深沢の100年 さくらフォーラム・マップ

以下のサイトは 平日 午前8時より午後8時までアクセス可能です。

マップを開く

B ここをクリック

A 左に示すBが表示されていない場合は、まず、ここをクリック

・地域風景資産クイズラリー（区都市デザイン課）設問について

「素敵な風景をめぐる」として、世田谷区の地域風景資産5箇所以上を巡ってクイズに応募するクイズラリーが開催されました(3/1～5/31)。当フォーラムが活動団体となっている「旧・新町住宅地の桜並木」の設問(Q)「植えられた桜の木の間隔は？」の解答(A)の三択 a 10メートル、b 7メートル、c 4.5メートルの中、cが正解とされたのですが、2面に紹介した「四～五メートル」を4.5メートルとするのは不適当ですので、この設問を削除(クイズ対象外)とするよう都市デザイン課に申し入れ、対応いただきました。

・「深沢・桜新町100年史」(定価500円)を配布しています。

・会員募集中: この地域の景観・環境・みどりなどに関心のおありの方は、ぜひ、ご参加ください。

発行元: 深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>  
 〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話: 03(3702)3274 FAX: 03(3702)3219  
 ©深沢・桜新町さくらフォーラム、2018  
 本号作成のため世田谷区地域の絆連携活性化事業の補助金を申請中です。



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくり活動に取り組む団体です。<http://sakura-forum.jimdo.com/>  
 2面:「桜よ、ことしもありがとう」、3面: 樹木医和田博幸さん講演会(2/25)報告—その2、4面: さくらフォーラムから

第2回特別保護区散策のお誘い(8月26日)

夏休み最後の日曜日、深沢八丁目無原罪特別保護区を  
 樹木医石井誠治さんのご案内で、一緒に散策しませんか?  
 大好評だった2016年晩秋の散策に引き続き、今回は、  
 夏の散策です。(公開日ではありませんが、入庭を了承いただきました。)



樹木医の石井誠治です。  
 一緒に、みどりに親しみましょう!  
 小中学生もぜひどうぞ。

特別保護区は、世田谷区みどりの基本条例に基づいて、区内に4箇所指定されています。



●石井誠治さんのプロフィール

1951年東京生まれ。世田谷区上北沢在住。  
 樹木医、森林インストラクター、環境カウンセラー。  
 著書:『わたしは樹木のお医者さん: 木々の声を聞き取ります』2016.3.18 / 『都会の木の花図鑑 新装版』2016.2.25 / 『木を知る・木に学ぶ』2015.7.3 / 『大人の樹木学』2013.10.5 / 『樹木ハカセになろう』2011.3.18

集合: 深沢八丁目無原罪特別保護区入口前 8月26日(日) 14時 少雨決行

(深沢8-13 桜新町駅下車、南へサザエさん通りを経て約800m。2面の図をご覧ください。)

参加費: 100円(保険料ほか)

定員: 20人程度(申込み先着順)

- 暑い時期の散策ですので、水分の補給その他の暑さ対策をなさってください。
- また、蚊などの虫さされへの対策もお考えください。
- 当日の時間によっては、道を隔てて隣接する深沢の杜緑地、さらに呑川親水公園に足を伸ばすかもしれません。お含みおきください。
- 当日まで時間がありますので変更の可能性があります。参加される方は、必ず前日までにお電話ください。(電話: 3702-3274)
- 散策後、世田谷聖母幼稚園2階ホールで、石井先生を囲んで懇談会を開きます。(自由参加)(ホールには靴を脱いで入っていただきます。スリッパが必要な方は、ご持参ください。)

訂正: 第30号1面の写真キャプション「2008年の西大通り」は、「2008年の南大通り」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

## 「桜よ、こどもありがとう」

これは、桜新町親和会（町会）の花びら清掃の際の標語です。

サザエさん通りから南に連なる桜並木（図の東・西・南大通り）と呑川親水公園の染井吉野（ソメイヨシノ）、駅前通りの種類が混ざった桜並木—桜新町という町名、駅をもつわたしたちのまちは、桜とともにあります。今回は、1913年に分譲が開始された新町住宅地に植えられた桜並木（「旧・新町住宅地の桜並木」）についてまとめてお知らせします。

### 桜並木の歴史（「深沢・桜新町 100 年史」p60～p61 をご覧ください。）

#### ○いつ、何本植えられたか？—はっきりしません。

- ・大正 2(1913)年発行の新町住宅地の分譲パンフレットには桜並木について何も書かれていません。
- ・大正 4(1915)年発行の雑誌には「大通りの両側に桜が植えられているが、もう五年も経とうものなら、春は花のトンネルが出て綺麗なことだろう。」と紹介されています。
- ・大正 7(1918)年発行の名所案内には「玉川電車新町停留所前両側鬱然として繁茂する桜樹数百千花時は丸で花の隋道を行くが如き…」との記述があります。
- ・昭和初期に書かれたと推量されるものの出版されなかった『駒沢町史』のために書かれた地元住民の記述には「桜樹壺千余本を配植し、…」とあるそうです。
- ・昭和 55(1980)年発行の『私たちのまち桜新町の歩み』（菅沼元治）には「その数はざっと千数百本。現在の『桜新町商店街』の道路ぞいから日本体育大学付近まで、四～五メートル間隔でズラリと並べられたのである。」(p18)と書かれています。（これを受けたと思われる「深沢の杜緑地」フェンス上の掲示板では、「四、五メートル」となっています。）
- 「日本体育大学付近まで」、「千数百本」は、やや誇張かもしれません。

#### ○どこに植えられたか？—図の中央通り、東大通り、南大通り、西大通りに植えられたようです。

- ・現在は植わっていない中央通り（図の A～B）、玉川通りまでの東大通り（図の B～C）にも昭和 30 年代には桜を見ることができました。

### 現在の桜並木

#### ○本数は？—現在、全部で 156 本です。

東大通り		南大通り		西大通り			計
C～D	D～E	F～G	G～H	H～B			
50 本	23 本	66 本	2 本	15 本		156 本	

#### ○桜の状態は？—区は、樹勢調査をして幹の腐朽空洞率が 50% 以上の場合、計画的に植え替えています。下の写真にはいろいろな樹齢の桜が並んで見えています。



写真の左の桜は、多分当初植えられた第一世代の桜です。腐朽空洞率が 50% 以上で、次の植え替え対象とのことです。（西大通りの深沢 7 丁目）

桜並木の剪定については、4 面をご覧ください。植え替えについては、ニュースレター第 29 号、第 30 号をご覧ください。（ホームページに掲載）

## 樹木医和田博幸さん講演会「さくら咲く 人で咲く」（2/25 開催）から—その 2

### 「さくら」って何？—「サクラ」という特定の植物は存在しません。

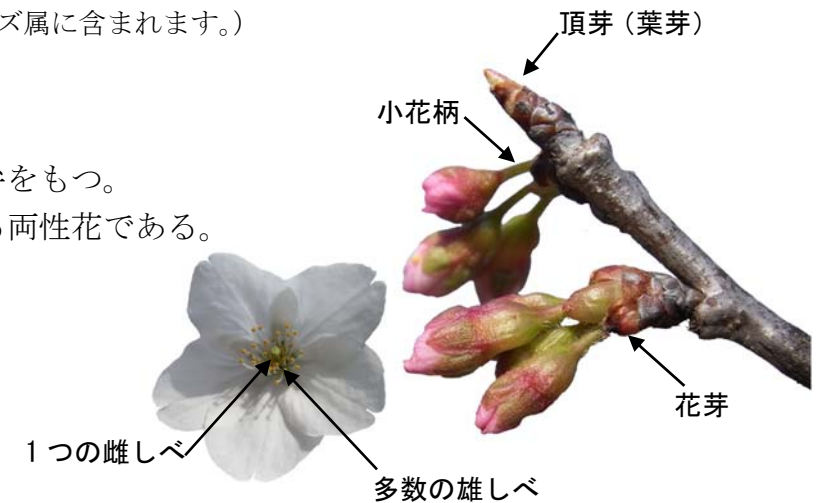
- ・バラ科サクラ亜科サクラ属に含まれる落葉広葉樹の総称です。（サクラ属のサクラ亜属とする説もあります。）

植物名は、一般的にカタカナを用います。

- ・サクラ亜科には、サクラ属のほかにバクチノキ属、ウワミズザクラ属、モモ属、スモモ属、アンズ属があります。（ウメは、アンズ属に含まれます。）

### サクラの特徴は？

- ・バラ科植物共通の基本的特徴
  - 同一大のはっきりした 5 枚の花弁をもつ。
  - 雄しべと雌しべが 1 つの花にある両性花である。
- ・サクラ属の特徴
  - 雌しべは 1 つ（雄しべは多数）。
  - 頂芽（葉芽）をもつ。
  - 長い小花柄をもつ。
  - 1 つの花芽に複数の花をつける。



直接、枝に花が付いて咲くウメやモモと違って、小花柄の先に花が咲いて、しかも 1 つの花芽（つぼみ）に複数の花が咲くので、ブーケのように見えますね。



和田博幸さん

ソメイヨシノ（染井吉野）の場合、ふつう 1 つの花芽（つぼみ）に 4 つ位の花が咲きます。元気な枝だと 6～7 個、弱った場合は、数が少なくなるので、気をつけて見てください。

### 「さくら」って、日本にしかない？

- ・ヒマラヤ地方から東西に伝播し、東では観賞性の高いサクラを中心に、西では食用のサクラを中心に広まりました。
- 熱海にはネパールから贈られた種から育てたヒマラヤ桜があり、冬に咲きます。

### 「さくら」って何種類あるの？—「〇〇種類あります」ということはできません。

- ・自分の花粉では種子ができず、同属の他の種と交雑しやすく、同じ枝の中で色の異なる花が咲くこともあるなど、新品種が生まれやすい特性があり、種類数を把握しにくいのです。
- ・ただし、日本のサクラの元となった野生種のサクラとしては、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、チョウジザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、ミヤマザクラの 9 種類が知られています。沖縄のカンヒザクラを入れて 10 種類とすることもあります。
- ・最近クマノザクラと命名された新種が発見され、論文が通れば確定します\*。（\*講演会后、確定）
- ・ソメイヨシノ（染井吉野）は、オオシマザクラとエドヒガンの交配種です。



オオシマザクラ



エドヒガン

写真は、和田さんのご了解を得て掲載しました。花の写真を全部掲載するスペースがありませんので、日本花の会のホームページの桜図鑑をぜひ、ご覧になってください。

次号に—その 3 を掲載する予定です。